TOPICS くまがや

フォト・ニュース

左から小澤自治会連合会会長、加賀崎市議会議長、富岡市長、門井熊谷警察署長、堀口県北部地域創造センター所長

●6月2日 熊谷駅前防犯センター「安心館」オープン

熊谷駅西通りに、ＪＲ熊谷駅周辺地域等の防犯活動の支援、犯罪の防止、環境浄化を図る、熊谷駅前防犯センター「安心館」が開設され、開所式が行われました。

●5月28日 スポーツフェスティバル

彩の国くまがやドームでスポーツフェスティバルが開催され、多くの市民がスポーツ・レクリエーションを楽しみました。

●5月27日 チャレンジ・ミートゥinくまがや

全国から集まったランナーによる、陸上競技・長距離種目の公認記録会が、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催されました。

●6月3日・4日 春日文化センター祭り

春日文化センターを利用する団体の活動発表として、春日文化センター祭りが開催されました。

●5月19日～21日 くまがやエコライフフェア2006

八木橋百貨店８階カトレアホールとコミュニティひろばで、市民・事業者・市が協同して環境保全意識を高めるための各種イベントが行われました。

●5月27日 リサイクルフェア

環境美化センターで、ごみとして出された古本や家具等、再利用できるものを販売するリサイクルフェアが開催され、多くの来場者で賑(にぎ)わいました。

●6月4日 歯の相談室

母子健康センターで、ブラッシング指導や、フッ素無料塗布を行う「歯の相談室」が開催されました。

●5月27日 植栽ボランティア活動

富士見中学校の生徒が、市民ボランティアであるフラワーキーパーさんの指導を受け、コミュニティひろばや市役所通線等の歩道の花壇に、ベゴニアの苗を植えました。

記念講演を行う富岡市長

●5月25日 直実市民大学入学式

平成18年度の直実市民大学の入学式が、さくらめいとで行われました。

●6月4日 国際交流バスツアー

熊谷市国際交流協会が主催して、85人の参加のもと国際交流バスツアーが行われ、富士山と河口湖を見学しながら交流を深めました。

●5月27日・28日へ 熊谷捺(なっ)染(せん)作品発表展示会

商工会館大ホールで、第41回捺染作品競技会に出品された振袖、小紋、額絵などの作品が、一般公開されました。

●6月10日・11日・17日・18日 あじさい寺へ「無料シャトルバス」を運行

アジサイの咲く季節となり、「あじさい寺」として知られる能護寺と「妻沼聖天山」、「道の駅めぬま」との間に、観光客を運ぶ無料シャトルバスが運行されました。

●5月23日 「妻沼甲友クラブ」が第6回埼玉県知事杯大会の優勝を報告

還暦野球チーム「妻沼甲友クラブ」が、第６回埼玉県知事杯大会の優勝報告のため、富岡市長を表敬訪問しました。

●5月23日 サッカーU-15日本代表国際大会優勝を報告

原口元気さん（別府中学校３年・浦和レッズＪユース所属）が４月11日～19日に開催されたフランコ・ガッリー二国際大会（イタリア）にU-15日本代表として出場、優勝し、富岡市長を表敬訪問しました。

●5月23日 社会人軟式野球チーム「ユメックス」市長を表敬訪問

４月に行われた第28回東日本軟式野球大会埼玉県予選会（２部）において優勝し、函館市で開催される東日本軟式野球大会（２部）の出場にあたり、富岡市長を表敬訪問しました。

夢追い人 情熱世代

「人は歴史の中継ランナー」の心とともに

めぬまガイドボランティア「阿(あ)・うんの会」会長 **鴫原(しぎはら)壽子(としこ)さん**（妻沼）

ガイドをしている鴫原さん

妻沼聖天山の境内にて

聖天様を語り継ぐ使命感

私は聖天様のすぐ近くで生活しながら、先人が苦労して築きあげた豪壮寺院である妻沼聖天山という全国的にも素晴らしい文化財の文化的価値や魅力などを、後世に語り継いでいくことが、地元に住む私たちの使命だと感じていました。「人は歴史の中継ランナー」という言葉がありますが、観光客の皆さんに聖天様のことを深く心に刻んでお帰りいただくことで、私たちがその使命の一翼を担っていこうと思い立ち、平成17年6月にこの会を立ち上げました。

会の名称は、メンバー全員が「阿うんの呼吸」で心を一つにして活動していこうという思いを込めて付けました。この会では、聖天山の院主様や文化財保護審議会委員の大山雄三先生のご指導を得て、毎月2回、聖天様をはじめ荻野吟子女史や能護寺等についての学習会を開催しています。そして、学習会に規定回数参加したメンバーには、「ガイドボランティア認定証」を発行しています。

心と心の触れ合いを大切に

現在は会員を5グループに分け、ガイドを希望する団体等の要請に応じて順番にガイドをしています。難しい質問に困る場面もありますが、丁寧にガイドした結果、お客さんとの心と心の触れ合いができ、喜んで帰っていただけたときは本当にうれしく思う瞬間です。

「ガイドボランティアのおかげで聖天様が変わったな、いい雰囲気になったな」と言ってもらえることを目標にこれからも頑張ります。そして、現在保存修理工事中の聖天堂が平成21年（予定）にご開帳されるときには、一人でも多くの方に訪れていただきたいですね。

最後に、私たちは広く熊谷市内でメンバーを募集していますので、ガイドボランティアに興味のある方のご参加をお待ちしています。

地場産農産物で Oh!フレッシュクッキング

今月の料理人は妻沼台の
岡田玲子さん

●生姜(しょうが)が食欲をそそり、サッパリいただける

キュウリと鶏肉(とり)の和(あ)えもの

■材料（4人分）

キュウリ	4本	塩	少々
鶏のささみ	4本	ごま油	大さじ1
生姜	1片	醤油(しょうゆ)	大さじ1

■作り方

①キュウリは薄く輪切りにし、塩をふって軽く混ぜ、しんなりしたら水を加えて塩味を薄め、固く絞って水気を切る。
②鶏のささみは、塩少量を加えたお湯に入れ、中火で10分程ゆで、冷ましてから細かく裂く。
③生姜1片は細かく千切りにしておく。
④①②③を混ぜ合わせ、ごま油と醤油で和えてできあがり。

◆農業振興課　☎内線442

一言アドバイス

食欲が減退しやすい夏は、ソーメンだけということも…。不足しがちな、たんぱく質やビタミン、ミネラルの補給におすすめの一品です。

◆健康づくり課　☎528−0601

人口と世帯　●平成18年6月1日現在（対前月比）
■人口　195,019人（+53）　男　98,066人（−3）　女　96,953人（+56）　■世帯　75,289世帯（+118）

「市報くまがや」は、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/「市報くまがや」は毎月1日（原則）に発行します。

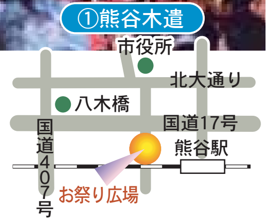
環境にやさしい大豆油インキ
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

●発行日　平成18年7月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎048-524-1111（内線206）FAX048-520-2870

夏、無形民俗文化財行事が多く行われます

夏には、市内に伝わる無形民俗文化財の行事が多く行われます。どれも連綿と受け継がれた貴重な地域の財産です。今回は、うちわ祭で見られる「熊谷木遣」をはじめ、夏に行われる市指定無形民俗文化財等を紹介します。

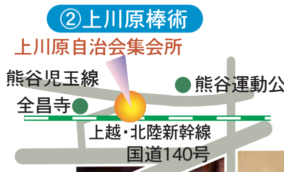
◆社会教育課　☎内線394



①熊谷木遣（きやり）（お祭り広場）

7月22日(土)21時20分ごろから

うちわ祭の年番送りで、熊谷鳶（とび）組合を構成員とする熊谷木遣保存会により奉納されます。この木遣は、文政年間（1818～29）に江戸風の木遣を伝承したものといわれています。1月の出初式、11月の地区消防点検でも披露されます。



②上川原棒術（大麻生上川原地区）

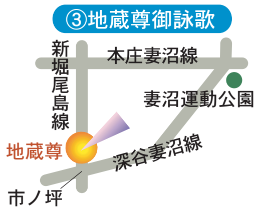
7月16日(日)10時から

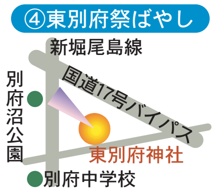
「神道香取流棒術」と呼ばれる秘技で、室町時代に盛んに行われていたものが、上川原地区の相続人に伝授され今日まで伝えられてきました。上川原自治会集会所で行われ、春にも行われます。

③地蔵尊御詠歌（ごえいか）（永井太田前新田地区）

7月22日(土)18時30分ごろから

独特の伸びやかな節回しで合唱しながら、地区の2基の地蔵尊に奉納される地蔵尊御詠歌は、昔から「やろう念仏」と呼ばれ、地区保存会により伝承されてきました。県下でも珍しい素朴な伝統行事です。



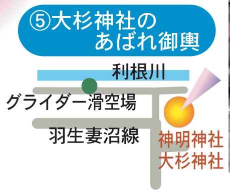


④東別府祭ばやし（東別府）

7月24日(月)・25日(火)

東別府神社の夏祭りで行われます。御輿（みこし）の巡行に合わせて「東別府祭ばやし」が同行します。おはやしは江戸時代ごろから行われていたものと思われ「五穀豊穣（ごこくほうじょう）」「家内安全」「悪疫退散（あくえきたいさん）」を祈願し、祭り気分を盛り上げます。

くまがや東西南北 見る 聞く 歩く



⑤葛和田大杉神社のあばれ御輿（みこし）（葛和田）

7月30日(日)

関東の奇祭として知られる東のあばれ御輿で、地区内の若い衆が早朝から葛和田地区をはじめとする秦地区を練り回り、13時過ぎから利根川に入り、さらにもみ合い除災を祈願します。

⑥出来島八坂神社のあばれ御輿（出来島）

7月23日(日)

西のあばれ御輿です。朝から地区内を練り回り、夕方近く(17時ごろ)に御輿ごと利根川に入ります。

⑦今井の廻（まわ）り地蔵（今井）

8月16日(水)～24日(木)

今井の浄業庵（じょうごあん）にまつられているお地蔵様を担いで、今井の各字を廻り、お地蔵様に念仏を唱え、子育てや「家内安全」「長命息災」を祈願する行事です。1月16日～24日にも行われます。

⑧恩田のささら獅子舞（下恩田）

8月27日(日)10時から(地区内巡行)
11時から(諏訪神社)

江戸時代後期より下恩田地区に伝わるささら獅子舞で、「五穀豊穣」「疫病退散」などを祈願して地区内を巡り、諏訪神社に舞いを奉納します。地区民の楽しい郷土芸能として今日に伝承されてきました。

⑨池上獅子舞（池上）

8月28日(月)9時から(地区内巡行)
19時から(古宮神社)

池上にある古宮（こみや）神社に伝わる獅子舞で、「悪疫退散」「五穀豊穣」「家内安全」などの祈願のほか、「雨乞（ご）い神事」にも舞われてきました。8月の例大（れいたい）祭（さい）のほか5月5日の疫神（えきしん）祭、1月の新春奉納獅子舞でも披露されます。